

世羅高等学校同窓会

27

同窓会会報

2025 December

Contents

ご挨拶
同窓会事業計画・予算
同窓会総会及び交流会・懇親会の報告
同窓生だより
SERA-NOW! 世羅高の今

支部等活動報告
世羅高創立130周年特集
2016年から2020年の世羅高校・同窓会のあゆみ
お知らせ



ご挨拶



同窓会会長
まつうら くに お
松浦 邦夫
(昭和45年卒)

～第27号同窓会報 発刊に寄せて～

秋涼の候、同窓会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝でご活躍のことと拝察をいたします。また、平素から同窓会事業の推進につきましては一方ならぬご支援ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

先日、世羅高校PTAが文部科学大臣表彰を受賞されました。今回の受賞は、

体育祭やPTA新聞の発行において、学校と緊密に連携しながらも、従来の形式にとらわれない斬新な発想による企画・活動が評価されたと承っております。まことにおめでとうございます。

今年も全国の球児を躍動させた夏の全国高等学校野球大会が開催されました。日大三高と沖縄尚学との決勝戦は見るものを感動させる素晴らしい試合となりました。栄冠は沖縄尚学に輝き、優勝旗は海を渡り歓喜の音が沸く沖縄県に届きました。

戦いのすばらしさと共に、試合終了後互いをたたえ合う姿や礼儀のありようの中に、いささかの清涼感が球場全体に漂ったと感じたのはなぜだろうと考えてみたのですが、その

答えは両校の監督さんの言葉の中にありました。それは「基本となる生活指導を大切にする」さらには「主体性を重んじる」という言葉でありました。人として生きる土台を作ると共に、自ら考え判断し、自ら行動する力を育てることにより個々の生徒さんが壁や悩みを自分で乗り越えていく力をつけること、また、そのために「生徒の心にしっかりと寄り添う指導の必要性」この言葉も発せられておりました。

指導と言えば、技術指導と思いがちな私でありましたが、お二方のメッセージに深く納得させられました。今世紀を生きる多くの若者たちに、伝えたい言葉でありました。

さて、世羅高等学校は、来年9月に学校創立130周年を迎えます。歴史と伝統に裏打ちされた母校の歩みと共に未来へと続く記念行事となすべく、同窓会は、保護者、教職員の皆様と連携を図り、同時に、生徒の皆さんの意見も踏まえながら計画遂行に取り組んでいるところでございます。

同窓会としての永遠の課題は、組織力の強化と活動の充実であります。皆様方と共にこの課題と向き合いながら、世羅高等学校及び同窓会の一層の発展のため尽力してまいりたいと考えております。今後とも変わらぬご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和7年9月



着任の御挨拶

私は、この春の人事異動にともない、大島裕校長の後任として着任しました平野剛と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。


同窓会の皆様には、平素から本校の教育活動に御支援・御協力をいただき、また本校生徒の活躍に大きな御声援をいただいておりますことに対し、心から感謝申し上げます。

着任以降、同窓会や後援会、保護者会やOB・OG会、世羅町の関係機関や企業・団体など多くの関係深い方々とお会いする中で、改めて本校が諸先輩方や地域に支えていただいていること、そして本校生徒の活躍が、同窓会の皆様や地域の方々の元気と活力につながっていることを実感しております。

現在、本校では、時代の変化に対応した新たな教育活動を積極的に導入しております。特に注力しているのは、生徒一人ひとりの主体性を引き出す「探究的な学び」です。自治体や地元企業・団体との連携による実践的な学びの場を積極的に創出し、生徒たちがこれからの社会を支えるリーダーとして活躍できる力を育む努力を続けています。

学校は同窓会の皆さまをはじめ、地域と共に歩んでいく場であり、同窓会や地域との連携が生徒たちの豊かな学びを支える大きな力となっています。引き続き温かい御支援を賜りますようお願い申し上げます。

これからも世羅高等学校は、「文武不岐」の校訓のもと、「高志挑戦 感謝貢献」（高い志をもち果敢に挑戦し、支えに感謝し社会に貢献）する生徒を育てる学校であり続けるよう、教職員一同全力を尽くしてまいります。皆様の一層の御健勝と御活躍を心よりお祈り申し上げ、挨拶とさせていただきます。

 **いつでもお電話でお気軽に**
建設業
(有)坂上建設 TEL 23-0231 (代)
FAX 23-0232
【夜間】23-0511
世羅町宇津戸3453-1

 **社会福祉法人**
みつば会
〒722-1111 広島県世羅郡世羅町寺町1568番地2
TEL 0847-22-2715 FAX 0847-22-4131

Topics

6月に行われた世羅高文化祭の1日目は、世羅高OBバンドのNOIMAGEが来校し、彼らの好演に大きな盛り上がりを見せました。世羅高出身のOBバンドが活躍しているということは今までなかなか聞きませんでした。外へ向かってどんどん挑戦していく卒業生たちをみんな応援していきましょう。

令和7年度 同窓会事業計画

■ 継続事業

令和7年4月1日～令和8年3月31日

1 令和7年度同窓会総会の開催

【総務委員会】

・開催日：令和7年7月26日（土）

会 場：甲山農村環境改善センター

当番幹事：昭和58年卒（サブ：昭和48年卒・平成5年卒）

2 世羅高等学校行事への参加 【総務委員会】

・卒業式、入学式、文化祭、体育祭、学びピエラ等

3 理事会、委員会の定期的開催 【総務委員会】

・定期的に理事会、常任理事会、委員会の開催により必要事項の協議と決定

4 世羅高校同窓会館の維持管理 【総務委員会】

・同窓会館の日常的な維持管理及び施設点検

5 同窓会入会式の開催 【総務委員会】

・卒業生を対象に新規会員の入会式を開催

開催日：令和8年3月

6 賛助金制度の維持、拡充 【総務委員会、広報委員会】

・会報の内容の検討と減少傾向にある賛助金の維持・拡充に努める。

7 同窓会報の発行 【広報委員会】

・同窓会員の現況報告、同窓会活動状況、在校生の活躍 6月発刊

8 同窓会ホームページ運用 【広報委員会】

・同窓会員の活動状況

・在校生の活躍など母校の現況を発信

9 各地域同窓会・校友会行事への参加【名簿・組織委員会】

・東京校友会・近畿同窓会・広島校友会の総会等に参加し連携を深める。

10 教育支援事業による在校生支援 【事業委員会】

・在校生及び卒業生への記念品（シャープペンシル・卒業証書台紙等）贈呈

・部活動で全国大会・中国大会等出場の遠征費用の支援

11 陸上部後援会や国際交流推進会議との連携

【事業委員会】

・全国駅伝競走大会などへの出場に対し、同窓会として連携を図る

■ 新規事業【総務委員会】

・令和8年9月 世羅高等学校創立記念事業の実施に向けて、実行委員会との連携

令和7年度同窓会一般会計予算

令和7年4月1日～令和8年3月31日 単位：円

勘定科目	予算額	前年度予算額	比較	備考
入 会 金	480,000	500,000	▲ 20,000	準会員：1年生 96人×5,000
会 費	440,000	390,000	50,000	正会員：3年生 88人×5,000
賛 助 金	1,300,000	1,300,000	0	2,000×700人－手数料・利用料
同 窓 会 報 広 告 収 入	200,000	200,000	0	広告枠20枠×10,000
前年度繰越金	1,475,359	1,333,570	141,789	令和6年度分
基金会計繰入金	500,000	800,000	▲ 300,000	基金取り崩し
雑 収 入	4,641	14,430	▲ 9,789	利息など
収入合計	4,400,000	4,538,000	▲ 138,000	
支 出				
事業費				
広 報 委 員 会 費	2,600,000	2,455,000	145,000	第27号会報（印刷・発送費）2,500,000 ホームページ運営費・事務費100,000
事 業 委 員 会 費	300,000	300,000	0	入学記念 70,000 卒業記念 100,000 在校生支援事業 130,000
名 簿・組 織 委 員 会 費	250,000	700,000	▲ 450,000	東京・近畿・広島支部助成180,000 本部支部役員協議会 50,000 名簿動向調査 20,000
総 務 委 員 会 費	550,000	295,000	255,000	総会運営 145,000 会館整備 105,000 130周年事業実行委員会 300,000
小計	3,700,000	3,750,000	▲ 50,000	
運営費				
通 信 費	40,000	40,000	0	会議案内用はがき・切手等
交 際 費	70,000	70,000	0	東京・近畿・広島との協議、慶弔等
人 件 費	0	0	0	
需 用 費	60,000	60,000	0	同窓会館電気料・燃料、事務用品等
備 品 費	20,000	20,000	0	
施 設 使 用 料	10,000	10,000	0	会議会場使用料
旅 費	165,000	150,000	15,000	東京・近畿・広島校友会旅費
積 立 金	0	0	0	
小計	365,000	350,000	15,000	
予備費	335,000	438,000	▲ 103,000	
支出合計	4,400,000	4,538,000	▲ 138,000	
来年度繰越金	0	0		
総合計	4,400,000	4,538,000	▲ 138,000	

◎付帯事項 一般会計予算の支出科目は流用出来るものとする。

令和7年度同窓会基金予算

単位：円

勘定科目	予算額	前年度予算額	比較	備考
預 金 利 息	0	0	0	
前年度繰越金	6,435,000	7,235,000	▲ 800,000	H29.3.10～R5.3.23 4件分
積 立 金	0	0	0	
収入合計	6,435,000	7,235,000	▲ 800,000	
支 出				
基金取り崩し	500,000	800,000	▲ 300,000	一般会計へ繰入
支出合計	500,000	800,000	▲ 300,000	
当期末繰越金残高	5,935,000	6,435,000	▲ 500,000	

進物の玉浦

☎0847-22-1107
FAX.0847-22-1567

〒722-1121
世羅郡世羅町西上原 612-2
営業時間 /AM8:00～PM6:00



和菓子のあるところに美味しい笑顔あり

和菓子処 大手門

世羅郡世羅町小世良577 電話(0847)22-5143

Topics

生徒会からの投稿によれば、「文化祭では個性豊かで、活気あふれるステージ発表になりました。どの組の発表も素晴らしいもので準備や練習の成果が伝わる…」とのコメントがあります。また、学校案内においても「生徒主体で作上げる文化祭」をうたい、まさに日々の学びを発信する場であったと思います。

同窓会総会及び交流会・懇親会の報告

本同窓会の総会及び交流会・懇親会が7月26日（土）甲山農村環境改善センターを会場として、昭和58年卒業同窓会員が当番幹事を務め、150名余の参加により盛大に開催されました。

開会に先立ち世羅高校軽音楽部のウェルカム演奏があり、第1部（交流会）のオープニングでは世羅高校各部の活動成果が発表され、高校全体の状況を平野校長から、また各学科の代表生徒による取組と陸上競技部の状況報告がありました。続いて第2部（総会）・第3部（懇親会）が行われました。

■ Welcome演奏（軽音楽部演奏：軽音楽部）（9:50～10:00）

■ 第1部 交流会（10:00～11:10）

（1）オープニング

- 1 吹奏楽部演奏（吹奏楽部）
- 2 ダンスパフォーマンス（ダンス部）

（2）学校の状況報告（平野 剛校長）

- 1 農業経営科報告 「農業経営科の取組みについて」
- 2 生活福祉科報告 「生活福祉科における資格取得の取組み」
- 3 普通科報告 「世羅高校における国際交流」
- 4 陸上競技部報告（佐藤瑞江教頭）

■ 第2部 「総会」（11:10～12:00）

議事	議第1号	令和6年度同窓会	事業報告の承認について
	議第2号	令和6年度同窓会	決算報告の承認について
	報告1号	令和7年度同窓会	事業計画の報告について
	報告2号	令和7年度同窓会	会計予算の報告について

※議事は、参加会員の賛成多数により全て可決・承認されました。

■ 第3部 懇親会（12:00～14:00）

- 1 開会（挨拶：当番幹事長 和泉 秀宣（昭和58年卒））
- 2 支部活動報告
 - 東京校友会 会長 吉宮 孝治 様（昭和42年卒）
 - 近畿同窓会 会長 釣井 良明 様（昭和42年卒）
 - 広島校友会 会長 脇坂 徳男 様（昭和45年卒）
- 3 乾杯
- 4 NOIMAGEのライブ演奏
- 5 次年度当番幹事あいさつ（昭和59年卒）
- 6 閉会

各支部からの状況等の報告を受け、その後NOIMAGE（東京を拠点として活動している世羅町出身の3ピースロックバンドで、3人のうち二人は世羅高校同窓生）のライブ演奏を聴きながら歓談し、交流を深めました。

～当番幹事長から～

交流会、懇親会を企画運営する任務の重大性から、年明けから地元同級生が集まり準備を進めてきました。少人数での対応は困難なため、幹事会への参加を呼びかけ、当日は町外・県外を含め28名の体制で運営することができました。

チケット販売等不安を抱えながらの準備となりましたが、理事や関係者の協力により目標の「参加者150名」をクリアすることができ、幹事会事務局長を中心とした同級生の皆さんの尽力に感謝します。

補足ですが、今回の同窓会幹事の取組をきっかけとして、還暦を過ぎての学年全体での同窓会を現在企画しており開催を楽しみにしています。



新入会員代表あいさつ

広島大学理学部化学科1年 ^{よどかわ} 淀川 ^{あおい} 碧及さん（令和7年卒）

私は今年の3月に世羅高校を卒業し、現在広島大学理学部化学科に在籍しています。世羅高校では、部活動も頑張りながら英検準一級取得を目標にして、勉学に励みました。淀川先生をはじめとした多くの先生方のおかげで準一級、そして広島大学に合格することができました。今現在は、大学院に進学することを目標に日々勉強をしています。

さて、私たちは晴れて同窓会の一員となりました。もっと同窓会をより良くしていくために私たちのような若い力も必要だと思っています。高校を卒業したばかりではありませんが、同窓会を、世羅高校を盛り上げていけるよう頑張っていきたいと思っています。私自身も後輩にできる限りのことをしていく所存です。

同窓会の皆様どうぞよろしくお願いたします。



手造りのおもてなし
 法事・慶弔料理・仕出し・宴会のご予約承ります
ファミリーレストラン
タイニー
 TEL(0847)22-0322
 FAX(0847)22-0405
 http://www.fr-tiny.co.jp/
 世羅郡世羅町西上原 483-3 (甲山ショッピングモールパオ前)

ワイナリー・直売店・レストラン・夢高原市場(産直市場)・ミニSL・足湯館
せらワイナリー
 SeraWinery
 ▼ワイン通販サイト ▼Instagram
 世羅郡世羅町黒淵 518 番地 1 電話：0847-25-4300
 営業時間／9:00～17:00 定休日：火曜
 ※営業時間および定休日は季節により変動

Topics

駅伝大会をめざす陸上部の物語ー 主人公は陸上部の選手。練習の厳しさ、チームメイトとの競争、怪我の不安。優勝の瞬間を迎えるまでの成長と葛藤などを選手たちは味わいます。これが生徒たちをどんなに成長させるか…陸上部選手に限らず、全世羅高生たちの成長を願っています。

同窓生だより

「世羅高駅伝、同窓生」に ありがとう

昭和46年卒 森下 泰至

久しぶりに世羅に帰りほっとしました。8月21日早朝、世羅高グラウンドで駅伝競技部の練習を見て、12月の全国高校駅伝に向けて頑張っている様子を見たからです。

私と駅伝の出会いは、同じクラスの村上君の存在でした。彼の選手時代の活躍、卒業後の世羅高駅伝競技部の監督等たくさんの思い出があります。

1975年3月に商社の営業職として神戸の会社に入社しました。その後、関係会社を含め今年の3月末迄、50年間欠勤無しで勤務できたことは人生にとって大きな前進となりました。

その中で、大阪、京都、群馬、埼玉、岡山と何回も転勤を重ねましたが、毎年、同級生と京都で全国高校駅伝を応援できたことは最高であったと思います。

また、慣れない関東地区への転勤の時、同級生から「仕事の 일환としてよい経験をするので頑張って来いよ！」と、背中を押してくれたことには今でも感謝しています。



古希祝の時、孫と一緒に（京都・天橋立）

関東地区赴任時の駅伝応援も、深夜バスでの弾丸ツアー。しんどかったけど良い思い出でした。

仕事面で初対面の方でも「広島、世羅高」を切り口にして助かりました。

やはり一番うれしかったことは、男女アベック優勝した時！！同級生と一緒に京都・祇園で大祝勝会を持ったことです。

勉強になったことは、村上監督が県予選で敗退したとき、全国大会に合わせて京都に選手を引率して、「悔しさを感じて、来年をめざそう」と言われた気配りです。

最後になりましたが、毎年の恒例の全国高校駅伝応援を微力ながら今後とも継続したいと思います。

母校「世羅高校」の存在に、 元気を貰う日々

昭和49年卒 岡田 謙二

16歳で当たり前のように高校に入学し、当たり前のように3年間を過ごし、当たり前のように大学に進んで、そして、学生生活を終え就職して会社で働く…という「定型人生」を私は歩んで来た。そして、今年「古希」を迎える。

世羅高ではクラブ等に所属することなく、学業以外に何かに熱中してきた訳でもなかった。将来やりたい事を目指すには希望する学校への進学を叶える必要もあり、私にはそれなりに勉強に励まないといけない事情もあった。

こうして、高校3年間は少し味気無いものになったのは、振り返れば残念な面はあった。

学び初めの小学生生活、自我が芽生える中学生生活、やりたい事が出来た大学生活、そして、辛いことも有りながら働く楽しさを経験した会社・仕事人生。それらに比べれば、私の高校生活は中途半端なものであったように思う。

しかし、人生締めの高齢者期間に入って来た今日、母校「世羅高校」が私にとっ

て如何に大きな存在になっているか、を実感している。

現在、世羅高卒業生の同窓会「広島校友会」という集まりに参加し、会の世話役の一人を担わせて貰っている。卒業生相互の親睦を図ると共に、募金を通して世羅高校・現役生徒達を支援する活動が、これほど自分にとってやりがいのあるものだったとは、思いもよらなかった発見である。私の生活に元気を与えてくれている。

世羅高校に関わる事柄を通して、「同窓生の親睦」と「母校」を盛り上げることに、微力ながら貢献して行きたいと思っている。



左が本人、右が前事務局・眞野 潔さん



大好きな世羅を 感じて

昭和49年卒
萩原 智恵

世羅高校を卒業し、世羅の地を旅立って、はや50年近くの歳月がたとうとしています。振り返れば、まだ2・3年前のこのように青春がよみがえります。世羅高校で過ごした3年間は、とても充実した私の宝物のような時間です。

縁あって世羅高同窓会広島校友会に入り、懐かしい皆さんと出会い、楽しい時間を過ごしています。

この春、「出てみない？70の記念に。」との友の呼びかけに、広島フラワーフェスティバルのパレードに参加することになりました。その練習の時やバ

社会福祉法人 亀 甲 会

三原市久井町江木161番地1
☎0847-32-6050

事業所 特別養護老人ホーム亀甲園
養護老人ホーム亀甲園
亀甲園デイサービスセンター
亀甲園短期入所生活介護事業所
(ショートステイ)



(有) ひらた

広島県世羅郡世羅町賀茂 3297-1
TEL・FAX (0847) 27-0488

Topics

世羅高には農業経営科・生活福祉科など多彩な学科があります。専門教科も多く、専門知識を持った先生がたが多くいらっしゃいます。最近、生徒数が減少しているというもったいなさをいつも感じています。普段接点の少ない学科・部活・地域が交わることで、新たな発展が生まれると信じています。

レード当日の世羅の仲間の温かさに触れることができました。

私に踊れるのかなと心配しながら参加し、前にいる人や鉾にいる人の踊っている姿を見ながら、私自身も一生懸命真似をしながら、歌を歌い、掛け声をかけました。「笑顔で」をいう声を聴きながら、100メートル道路をみんなと一緒に何とか行進することができました。

大好きな「世羅」を感じながら、みんなと心をつなぐ行進で、また一つ世羅の好きなおとこが増えました。

世羅への帰り道、目に映る緑のじゅうたん、黄色のじゅうたんに、心を癒され、日々疲れた心と体が生き返りました。

みなさんにとっての「世羅」はどこですか――？



ボールを言葉に変えて、まだまだ投げ続ける

昭和49年卒
宗重 博之

高校生活でまず思い出されるのは、汗と泥で汚れたユニフォームの匂いだ。勝った試合よりも、負けた直後のベンチに漂う、あの重たい沈黙のほうに記憶が焼きついている。甲子園にはほど遠かった世羅高のグラウンドには、それでも大切なものがいくつも転がっていた。結果はどうあれ、本気で投げたボールは嘘をつかない。嘘をつくのは、たいいてい自分の弱さだ。3年の夏の広島市民球場、ギンギンに照りつけるマウンドの太陽の下で、私は思い知った。「青春とは才能よりも、積み重ねた汗の総量が輪郭が決まる」と。

卒業後、東京で思いがけず演劇の世界に飛び込んだ。マウンドと舞台は形は違って、逃げ場がないという点ではよく似ていた。ごまかせばすぐに露呈する。舞台袖の緊張、仲間との呼吸、観客の反応。そのすべてが、審判の判定よりも正直だった。スポーツが身体で語る言語なら、演劇は心で語る言語だ。私は、運よくその両方を味わうことになった。

舞台を追ううちに、気づけば50か国以上を巡っていた。ベルリンでは、壁の跡に残る影と向き合いながら創作に

携わった。セルビアでは、空爆で傷ついた劇場で、ろうそくの灯りだけを頼りに芝居を続ける役者に会った。ベトナムでは5年をかけて文化交流に取り組んだ。言葉も宗教も政治も異なる人々が、同じ場面に笑い、同じ瞬間に涙する。理屈より先に届くのは、表情とリズムだ。そこで私は、文化の力が社会の深いところに染み込む瞬間を何度も見た。

そんな経験を抱えて、1年前に世羅へ戻ってきた。野球で鍛えたしぶとさと、海外で培ったネットワークとコミュニケーション。それらを地元の未来に投げ返したいと思った。私の中の脚本家は、今もニヤニヤしながら次の一場面を構想している。振り返れば、人生もまたグラウンドのようなものだ。毎朝、整備して、また全力で立つ場所。

同窓生の皆さん。私たちは同じ教室で息をし、同じ校則に悩み、同じ季節を過ごした仲間である。だからこそ、この地を大切にしながら、新しい物語を創り出す責任がある。人生のホイッスルを鳴らすのは、自分自身だ。私はこれからも腕を振り続ける。狙うのは、人の心のだ真ん中。もちろん、たまには遊び心で変化球も投げるが、最後は直球で勝負する。



高校時代の想い出 (青山の峠を越えて)

昭和50年卒
竹野 真樹

久井の田舎から、自転車で毎日「青山の峠」を漕ぎ上り、雨にもマケズ、雪にもマケズ、ただひたすらに世羅の地を目指して通学していました。

当時は学区が異なっていて（久井町は当時は御調郡、現在は三原市）、本来であれば世羅高は進学対象外の学区であったことが思い出されます。

さて、高校時代、生来の探求心が顔を擡げ、様々なことにチャレンジした記憶があり、現在も継承しているものもあります。

大型自動二輪車免許の取得、天体観測、アマチュア無線、オーディオなど、また、当時流行っていたフォーク

ギターにも入れあげ、勉強といえば定期試験の直前のみ、という悲惨な学習態度であったかと思ひ悔やまれますが、勉強以外に得た経験がその後の人生を豊かにしてくれたと自負しています。在学中に所属していたクラブは物理部、テニス部、そして文化祭で弾き語り演奏した軽音楽部です。

また、当時、特に記憶に残っているのは、在学中に全国高等学校駅伝大会で2回の優勝を飾ったことであり、そのことを契機に、社会人になってからも本校陸上部に細々ながら支援活動を行っております。

卒業後は、京都にある大学、大学院に進学し、出版社勤務を経て、大学のゼミの先輩が勤務する短期大学に招かれ、大学の創設に携わることになり、20年以上の歳月を経て、2011年の開学に漕ぎ着けました。周知のとおり、この年は東日本大震災が発災した年で、第1期生から特別奨学生制度（入学・修学支援制度）を適用しました。

30数年務めた学校法人を4年前に定年退職となり、現在は生活基盤である大阪と久井を往復しながら、実家で野菜作りや草刈り、世羅高校近畿同窓会での活動、またNPO法人の役員として、フィリピンのマニラ近郊にあるマロス市のカニオガンという地区で最貧困地区の支援活動、日本の高校生と現地高校生との交流事業などで、年6回程度渡航しています。

いずれにしても、青春時代の一時期における思索形成に携わって戴いた、当時の多くの先生方に感謝の気持ちを捧げつつ、この稿を終えたいと思います。

地域支援員になって

昭和50年卒
二井谷栄恵

世羅高校を卒業して50年、駅伝といえば世羅高校、世羅高校といえば駅伝といわれ、私が在学していた時には1学年と3学年の時の2回全国優勝を果たしました。卒業後進学した関西の大学での事、自己紹介で出身校を伝えたところ担当の教授が「駅伝で有名な世

仏事・祝事 各種弁当

料理旅館

ぶらぶら

本郷 25-2

☎22-1161・FAX 22-1162

配達も致します

季節料理・宴会・仕出し・フグ・スッポン

山 福

世羅町本郷 693-2
☎(0847) 22-0219

6月23日、被爆80年を機に被爆体験伝承者を招き、留学生を含めた全校生徒約300人が「戦争・核・平和」について講話を受け、理解を深めました。世羅高は、国際交流やグローバル視点を持った教育とも連動しており、ますます学びの幅が広がっていると思います。

羅高校ですか。」と返され、嬉しかった事を覚えています。

大学を卒業後広島県に採用となりそれから38年間教育現場で過ごしました。その後現場を退き、ゆっくりと思っていた矢先地域支援員をという話がありました。ずいぶん悩みましたが今まで地域に貢献できていないという思いもありお引き受けする事としました。初めは何をしたら良いのかわからず困りました。とにかく地域の行事には参加してできる事をお手伝いしようと動き始めました。現在7年目になりました。

この間様々な出会いや関わりの中で地域の方がサロンのために作ってくださったぷりんを食べた方からとても美味しいので「地域でしか作れないぷりんを作って販売しては」という提案がありました。というのも地域には三原市で唯一の乳牛の牧場があるのです。この事をぷりんの得点として、ぷりんを作っては販売する事で地域の活性化に繋がるのではないか言うことでグループを立ち上げる事になりました。その後、話し合いと試作を重ね、手続きを得てぷりん「あざみの里」を毎週製造し委託販売する活動が始まったのです。三原ぷりに登録して、今年で3年目になりました。

また、地域に製薬会社の久井ファームがあり丸善製薬の会社から是非この場所を使ってくださいとの話をいただき以前から地域活性化の一つとして挑戦してみたかった「マルシェ」を開催する事になりました。今年3回目となりました。実行するのは大変なのですが地域の方の「やってみようや。」という声に励まされてマルシェが始まり、今年も開催することができました。

開催にあたり地域の方の支援が本当に有り難いと感じています。これらの活動を通して地域の人と人が繋がっていくといいなと思って活動をしている日々です。



同窓生だよりに寄せて

昭和52年卒
栗原 正和

世羅高校の同窓生だよりによせるにあたり、世羅高校へ入学する昭和49年4月以前の話から入りたいと思います。私が中学校3年生だった当時は、今の世羅中学校ではなく、まだ世羅中学校大田教場の呼び名でした。私は陸上部ではありませんでしたが、駅伝選手として世羅郡の大会へ出場、優勝して中国中学校駅伝大会へ出場したのです。

その当時のコースは賀茂郡西条町庁舎から賀茂郡福富町久芳を往復する34.2kmのコースで行われました。結果は予想を超えたレースとなり、見事に世羅中学校大田教場が優勝したのです。当時の世羅高校の陸上部監督の方も、地元の精鋭9人に大いに期待を寄せられたものです。しかしながら、その時のメンバー9名は、1人しか陸上部に入部しませんでした。

そんな1年生で入学した年、世羅高校が全国高校駅伝大会で初めて2時間8分台で優勝した年でもあったのです。地元、世羅高校に入って本当に良かったと感じた年でした。

あれから半世紀以上が経過してことになります。この同窓会会報に投稿するにあたり、昔の思い出がよみがえった次第です。

高校を卒業してからは県外に就職し、定年後に故郷に帰りました。当初は、今の仕事ではなく、違う職でしたが、何か地域のためのできることを模索している時に、現在の自治振興活動に出会うことができました。少子高齢化はもとより、人口減少が進みつつある中で、少しでも活気のある事、活動と思い、少しでも世羅町を盛り上げるために、有志の方々と一緒になって「大田山車振興會」を立ち上げ、活動に協力させていただいております。

これからも、地域の皆様と協働しながら地域活動に邁進できたらと思っています。



恩返し

平成28年卒
新迫 志希

私が、世羅高校を卒業して約10年の月日が流れました。しかし、長い年月が立っても、男子第65回・第66回全国高等学校駅伝競走大会を優勝した時の記憶は今でも鮮明に覚えています。「駅伝のまち世羅町」に支えられ、2度も優勝することができたのは、世羅町の皆様が熱い声援を送ってくださったおかげであると自負しております。また、世羅町の皆様に祝福されたのは私にとって財産であり、今でも人生の糧となっています。この場をお借りして改めて感謝申し上げます。

私は現在、「せらスポーツクラブ」で小学1年生から中学3年生の陸上の指導に携わっています。私自身の競技人生は3年前に終わり、今度は子どもたちの運動を支えていきたいと考えていたところ、「せらスポーツクラブ」のお話をいただきました。そのため、私の指導者としての人生は世羅町でスタートしたということになります。また、ここまで私を育ててくださった世羅町に恩返しをしたいとずっと考えていたので、2つの願いを同時に叶えることができました。これも、世羅町の方々のご協力の賜物です。

今の社会は大きく変わってきました。日本の社会問題でもある少子高齢化が進み、子どもたちは多様化、ICT化の時代へ移り代わりました。また、私たちの時代と比べて多様化が進んでいるので、誇りであった世羅町の駅伝の伝統も失われつつあるかもしれません。ですが、これから世羅町の駅伝を担っていく生徒は、どうか、世羅町への感謝と誇りを忘れず、高い志を持って成長してほしいと願っています。

終わりになりますが、世羅高校および同窓会の益々の発展をお祈りしております。また、今度は支える側の人間として私自身も精進して参りたいと思います。

世羅ダイハツ 双葉自動車株式会社

〒722-1114
広島県世羅郡世羅町東神崎368-4
TEL 0847-22-0777 FAX 0847-22-0760

出光興産株式会社販売店	■本社	☎(0847)22-2121
	■セルフステーション世羅バイパス	☎(0847)22-1151
	■セルフステーション三原中之町	☎(0848)63-6677
	■セルフステーション東尾道	☎(0848)56-1668
	■宮浦SS	☎(0848)67-7111
	■吉金SS	☎(0824)43-2272
	■世羅油槽所	☎(0847)22-1136
	□株式会社やっさ石油	☎(0848)63-8216
	□宮浦SS	☎(0848)63-7733
	□沼田東SS	☎(0848)66-2727

代表取締役 坂東辰男

Topics

2025年1月、3町が合併して現在の町が発足してから20年を迎え、記念式典が開催されました。新たな町のマスコットキャラクターも披露され、「次の10年へタスキ繋ぐ」というテーマで地域の未来に向けたメッセージが出されました。見直しと地域活性化に向けた取り組みで節目の年にしたいものです。

農業経営科の1名が海外研修へ行ってきました！ JRA次世代の養蜂人材育成のための研修事業

1年 白土 暖乃

私は次世代の養蜂人材育成のための研修事業に参加し、韓国に10日間行きました。韓国は養蜂大国として有名で、ミツバチの飼育数も日本に比べるととても多く、過密状態で飼育していることが特徴です。養蜂に触れる機会が多く、飼育道具をととても工夫されており、韓国発祥の新しい養蜂器具や機械など、韓国での養蜂の歴史や技術など多くの知識を得ることができました。初めての海外でしたが、日本全国から集まった、養蜂に携わる高校生たちと移動中もたくさん話をする事ができ、大変貴重な研修となりました。この体験をこれからの人生に活かしていきたいです。



令和7年度 第45回日本学校農業クラブ中国ブロック連盟大会「プロジェクト発表会」・「意見発表会」結果

農業クラブの正式名称は「日本学校農業クラブ連盟」とい、別名を「FFJ」と呼ばれています。「FFJ」とは、「Future Farmers of Japan」の頭文字をとったもので、明日の日本の農業経営者や農業に関連した産業を担う者を意味します。「FFJ」には、全国の農業課程に属する高校生が所属しており、本校の農業経営科の3学年全ての生徒も所属しています。

農業クラブでは、各校が位置する地域の活動から、全国での活動まで幅広く行われており、本校農業クラブでは、地域の諸問題を解決するための研究をはじめ、日頃の学習成果を競い合う大会にも積極的に出場し、先日行われた広島県プロジェクト発表会・意見発表大会で、4部門において最優秀賞を受賞することができました。最優秀賞受賞者は、8月8日に岡山国際交流センターにて開催された「日本学校農業クラブ中国ブロック連盟大会」に広島県の代表として出場しました。プロジェクト発表会Ⅱ類、意見発表会Ⅱ類で最優秀賞を受賞し、10月22、23日に西関東で開催される全国大会に出場します。また、広島県の代表として農業鑑定競技会に2年1組大原龍也（分野野菜）と2年1組吉国悠哉（分野果樹）が出場します。

今後も「世羅高校」の名を轟かせることができるよう日々精進するとともに、地域に根差した活動を展開していきたいと考えています。

- ◎プロジェクト発表会 Ⅱ類 最優秀賞
「絶滅危惧種ヒョウモンモドキの保護プロジェクト～通年飼育への挑戦～」
3年1組 齋良 悠也 岡田 健二 藤井 廉也 村上 哲爽 古満 仰晴
岸部 優汰
- ◎意見発表会 Ⅰ類 優秀賞
「最年少組合法人会員として地域農業を守る」2年1組 吉国 悠哉
- ◎意見発表会 Ⅱ類 最優秀賞
「絶滅危惧種ヒョウモンモドキを守る」2年1組 河口 海人
- ◎意見発表会 Ⅲ類 優秀賞
「都市養蜂で平和都市広島を守る」3年1組 中谷 龍人



学校家庭クラブ

令和7年度 第66回全国高等学校家庭クラブ指導者養成講座に参加しました。全国の受講生が東京に集まり、広島県代表として2日間、国立オリンピック記念青少年総合センターに行きました。ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について講義やこぎん刺しの体験講座を受けたり、クラブ員同志の交流を深めたり、本校の実践報告をしてきました。今後、広島県の学校家庭クラブで今回の研修を深めていくことができるように頑張っていきたいです。



貸切バス・タクシー・旅行業

世羅交通(有)

世羅町東神崎91

- タクシー (0847) 22-5588
- 貸切バス (0847) 22-0477

車検・整備全般・钣金塗装・販売・ロードサービス・損害保険代理店

アラタニオート
検索の 60th Anniversary
ARATANI AUTO

お得なレンタカープラン豊富に取り扱ってます! ☆

アラタニオート株式会社 広島県世羅郡世羅町東神崎377-1
営業時間 ▶ 8:30~18:30
TEL 0847-22-0279 富お気軽に問い合わせください

「道の駅 世羅」紹介! 世羅町は「果物のまち」として知られていますが、2025年には地元農産物を活用した“クラフトビール”の販売が、町内の 道の駅 世羅 で始まりました。今後は梨やブドウといった町の代表的な果物を使った新作も予定とのことです。



全国高等学校家庭科技術検定



被服製作(和服)1級 (3年生10名受検)

3年生経営類型10名はひとえ長着(ゆかた)を製作し、ひとえ長着の知識と技術だけでなく、製作における思考力や制限時間内でやり遂げる段取り力を身に付けることができました。



食物調理1級(3年生15名受検)

献立作成の主題: 22歳兄の就職祝い
指定調理: ねじ梅を使った調理
 カスタードプディング
和風、洋風、中国風の供応食の献立作成及び調理をしました。練習の最初と比べ、段取りよく調理する技術を身に付けることができました。



食物調理準1級(2年生18名受検)

献立作成の主題: 17歳女子高校生の通学用弁当
指定調理: 焼物
指定材料: 肉 40g
自分で考えた献立をつくりました。食物調理に関する知識・技術のみならず、段取り力も身に付けることができました。



アメリカ合衆国ニューヨーク州にある姉妹校、ソートン・ドノヴァン校(TD校)から留学生が滞在し、交流を行いました。

6月19日から7月2日(水)14日間、NYのソートン・ドノヴァン校(TD校)から生徒3名が、世羅高を訪れました。短期留学の大きなテーマの1つは「平和学習」です。例年実施している広島市への平和学習に加え、今年から大久野島での平和学習を行いました。



修善院で陸上競技部創設についての話を聞くTDの生徒。



生け花体験。一人ひとり独創的な発想力で、美しくお花を生けました。



歓迎式典で挨拶をされるTD校のピッツ先生。



広島市での平和学習。作成した千羽鶴を奉納しました。



大久野島平和学習。講師の説明に真剣に耳を傾ける生徒たち。



アラハタジャムデッキ。工場見学とジャムづくり体験をしました。




2日間行われた文化祭。世羅高校の一員としてクラスに溶け込み、準備から当日まで共に楽しみました。ダンスやギターも披露してくれました。



平和についてのディスカッション。両校の生徒が気づきを得る機会になりました。

OA機器・オフィス/事務用品
教材/教科書・学用品 他



(株)森田尚文館

tel(0847)22-0136 fax(0847)22-3051
何なりとお気軽にご相談ください♪ 世羅町西上原535-1

住宅・工場配線/高圧・低圧設備/空調設備
電気のことならお気軽にご相談ください。



株式会社 小川電気工事
OGAWA ELECTRIC CONSTRUCTION CO., LTD.
世羅郡世羅町西上原880-5
TEL(0847)22-3171 FAX(0847)22-3225



世羅町と言えば、広島県でも南部に属しているのに秋冬の気温の寒暖差が大きく、米・野菜は「世羅のものはおいしさに決まっている。」とよく言われます。果物生産→観光・物産→加工・新商品、という流れを町として強化し、観光振興・農産物付加価値化などを、どんどん押し出していきたいものです。

台湾・屏東県立大同高級中学の生徒が来校しました。

7月2日、台湾の姉妹校、大同高級中学の生徒が来校しました。滞在期間は半日と短い時間ではありましたが、歓迎式典からお見送りまでの短時間、授業体験や昼食会などで交流を行いました。



大同高級中学 陳冠明校長挨拶



記念品の交換



世羅高校ダンス部による歓迎パフォーマンス



大同高級中学生徒による歌とダンスの出し物



授業体験（生活福祉科ポーチづくり）



全校生徒でお見送り

令和7年度 男子第76回・女子第42回 広島県高等学校駅伝競走大会

11月2日、三次市で広島県高等学校駅伝競走大会が開催され、吹奏楽部や写真部、生徒会をはじめとした世羅高生もたくさん応援に駆けつけました。男子は22年連続55回目の優勝をはたし、12月21日に京都で開催される全国大会への出場切符を手にしました。女子は惜しくも準優勝となりました。

11月16日、三次市で中国高等学校駅伝競走大会が開催され、女子は総合2位という順位で、再挑戦という形で12月21日に京都で開催される全国大会への出場切符を手にしました。広島県大会と中国大会では、当日はたくさんの方々に応援に駆けつけてくださり本当にありがとうございました。温かいご声援が私たちの後押しとなりこのような結果に結びつきました。男女そろって全国の舞台では8位入賞ができるよう残りの日々を大切に練習に励んでいこうと思います。引き続き、熱い応援をよろしくお願いいたします。



令和7年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会（7月25日～7月29日）

〈男子〉

5000m タイムレース決勝 土間 董哉 14分19秒68 3組15着
3000mSC タイムレース決勝 小丸 統玄 9分25秒22 3組14着

〈女子〉

800m タイムレース決勝1組 ノラ ジェロティッチ 2分9秒79 3着
1500m タイムレース決勝2組 ノラ ジェロティッチ 4分25秒09 3着

本がいっぱい

ブックセンター **アオイ 甲山店**

店舗 〒722-1122 世羅郡世羅町小世良396-1
TEL (0847) 22-3883
FAX (0847) 22-2732

土木工事業（広島県知事許可般-12444号）

有限会社 **龍王**

〒722-1626 広島県世羅郡世羅町大字賀茂 1024
TEL.0847-27-1231 FAX.0847-27-1232
e-mail:r-ryuou@mail.mcat.ne.jp

Topics

町内の世羅高原農場（「そらの花畑 世羅高原花の森」内）では、2025年11月1日から12月21日の金土日祝を中心に「キャンドルナイト」が開催されます。夜間イルミネーション風の演出で、ロマンチックな雰囲気の中、写真撮影やカップル・観光客向けの企画も含まれています。

支部等活動報告

東京校友会 昭和42年卒 会長 吉宮 孝治



東京校友会の事業として、本年、会報「とうきょう世羅」は、4月に第60号、10月に第61号を発行しました。会報では、世羅高の生徒や卒業生の活躍の様子、世羅町の情報などを紹介し、会員各位から好評をいただいております。

本年の親睦行事としては、日光・奥州街道の宿場町である足立区千住において、1月12日に千寿七福神めぐりを12名の参加を得て開催し、1年の福運を祈りました。この新年早々の恒例行事には、毎年、日彰館高校同窓会の東京支部（東京馬洗会）の皆様にも参加していただいております。来年は、江戸時代最古の山手七福神を1月10日に巡ります。

3月30日には、神田川沿いに細長く広がる文京区の江戸川公園において6名が参加して観桜会を催し、満開の桜を楽しみました。



千寿七福神めぐりー河原町稲荷神社にてー (R7.1.12)



全国高校駅伝大会 (京都 25.12.22)



観桜会 (江戸川公園大滝橋にて25.3.30)

今年の総会は11月30日(日)に、世羅からも多くのご来賓をお迎えして、上野公園内の上野精養軒において開催する予定です。旧交を温め、世羅高や郷里の様子などを伺うことができる楽しい会ですので、多くの皆様のご出席をお待ちしております。

陸上競技部の応援に関して、12月の全国高校駅伝競走大会では、毎年京都において世羅の皆様と共に力一杯の声援を送っています。また、陸上競技部応援賛助金は、沢山の会員の皆様から浄財が寄せられており、引き続き募集しております。

なお、東京校友会の情報はLINE、HP、FBでも発信し、世羅高校と世羅高同窓会にもリンクしておりますので是非ご覧願います。

近畿同窓会 昭和42年卒 会長 釣井 良明



世羅高等学校近畿同窓会は、令和6年と変わらず令和7年も大阪市の会議室を借りて、顔を突き合わせての発言や討議をいたしました。近畿同窓会独自の活動、年4～5回の計画で役員・幹事会はもとより、年1回の総会も、新大阪ワシントンホテルプラザにおいて実施いたしました。去る5月18日、御来賓平野校長・松浦同窓会長・世羅町副町長金廣隆徳氏を招いて、各々の御話・情報を賜り、無事に終了しました。当方川島事務局長の議事運営、並びに司会のもと御出席の皆様のご協力もあり、予定しておりました議題・報告事項についても御承認をいただくことができました。

今後の近畿同窓会を運営していくにあたって、いくつかの問題を抱えており、解決して行かなければならない検討課題を残したままですが、役員・幹事顔を突き合わせて審議していきたいと思っております。

2025年度、広島県人会への活動協力については、総会・懇親会「ふる里ふれあい祭り」も、去る2025年6月29日(日)、大阪市中央公会堂にて来賓の方々を含めて約200名弱の参加者のもと開催されました。世羅町の来賓：奥田町長はじめ、我が世羅高からは釣井良明(会長)・川島利章(事務局長)、矢吹益造(相談役)が参加しました。今年は大阪府在住で世羅高出身、京大大学院修了の宮内宏哉さんにも参加いただきました。



他団体との交流では、広島県関西同窓協議会(関同協)への事業運営への参画・協力、広島県人会への支援・協力をしてまいります。

本年度、県人会・関同協共催の『呉、西条方面散策会巡り』・『神戸散策会巡り』への参加、広島味楽会への参加、県人会主催の『中国四国物産展』への支援、選抜高校野球甲子園(春・夏)出場校の応援等々、参画してまいります。今年も、同窓会会員共々参画したいと考えております。

昨年末の全国高校駅伝大会においては、広島県人会・広島県関西同窓協議会の面々が、『たけびしスタジアム京都』のスタンドに駆けつけていただき世羅高応援をいただきました。昨年同様成績は期待に反しましたが、多くの方から慰めの声をかけていただきました。

令和7年は、近畿同窓会若手会員の勧誘活動を始め、情報交流・同窓会活動の活性化・機能拡大を図れる様願っております。近畿圏に在住の若いOBの方々の入会をお待ちしております。そして、母校の尚一層の発展をお祈りしております。

広島校友会 昭和45年卒 会長 脇坂 徳男



広島校友会も令和7年に入り、新体制でスタートを切り2年目を迎えました。事務局長の中間浩司さん、そして事務局長補佐の岡田謙二さんの強力タッグマッチを幹事の皆さんがフォローする体制が確立しつつあります。

各支部とも会員増が共通の課題ですが、広島校友会では、現状、74名と新規加入、脱会と一進一退を繰り返しながら、一步一步、前進しております。

7月26日の同窓会総会において、広島校友会の説明ブースを設置していただき、広島近郊にお住いの卒業生を数名、ご紹介頂きました。また、猛暑が続く中、8月24日(日)お昼に、広島駅新幹線口の居酒屋で広島校友会会員と同窓会メンバーを加え、25名の参加で交流会を開催し、楽しいひと時を過ごしました。この交流会は、広島校友会の会員だけでなく、世羅町からも卒業生の方、7名参加していただきました。ありがとうございました。

この交流会は、卒業生ならだれでも参加できるということで開催させて頂きました。今回の盛り上がりをごに大きく継続実施をしてまいります。

なお、来年1月の総会・懇親会を「全国都道府県対抗男子駅伝」(2026年1月18日開催予定)の前日、1月17日土曜日に、広島駅新幹線口に近い「広島ガーデンパレス」にて開催を予定しております。そして、翌日、世羅高校選手への応援をすることになっております。ぜひ、ごぞって参加をお願いいたします。



置で造る癒やしの空間と
和の心・家を守るシロアリ消毒

株式会社 **もみの木畳店**

〒722-1122 世羅郡世羅町小せ良380
TEL:0847-22-1426 FAX:0847-22-1893
E-mail:momi1426@plum.ocn.ne.jp

一果一果 丹精込めて
世羅幸水農園
SERA KOSUI FARM

世羅町本郷365-20
TEL(0847)22-2219 FAX(0847)22-2203
<http://www.sera-kousui.jp>

Topics 今年も世羅町でコウノトリが、7月に3年連続で繁殖が確認されました。それも何と4羽の誕生です。8月11日には、全ヒナの巣立ちが確認されました。空から見えた世羅町に降り立ったコウノトリ。選んでくれてありがとうございます。野生のコウノトリが安心して営巣・子育てできるよう、農地・水辺環境・餌場の保全が引き続き重要です。



物語はなお続いていく…

広島県立世羅高等学校は、 2026(令和8)年に創立**130**周年を迎えます 広島県立世羅高等学校同窓会

世羅高は明治29年に私塾甲西会として、千葉三郎先生の深遠なる教育の理想に基づき創設され、令和8年に130周年を迎えることとなります。その間、2万百余名の卒業生を社会に排出し、各界各方面でめざましい活躍をされています。

この度、世羅高等学校のさらなる発展を念願して「創立130周年記念事業」を企画することになりました。

同窓会の事業計画のとおり、記念事業を成功させるため、同窓会・学校・PTAで「世羅高校創立130周年記念事業実行委員会」を立ち上げ準備を進めていきます。

1 記念事業開催の趣旨

- (1) 130年の歴史を振り返り、本校を育てていただいた先輩の皆様の労苦に感謝する。
- (2) 本校は、文武不岐の教育方針のもと、2万百余名の卒業生を国内外に送り出してきた。
- (3) 令和8年を周年の大事な年と位置付け、「世羅高校」に対する誇りと喜びを地域・保護者の皆様をはじめ、卒業生・関係者の皆様と分かち合う。
- (4) こうした母校への思いを結集し、未来に向かって歴史を刻むことができるよう創立130周年の事業を実施する。
- (5) 本事業の成功を今後のさらなる発展のため、皆様方のご支援・ご協力をお願いする。

2 事業計画の内容

- (1) 記念式典、記念講演等の実施
- (2) 記念碑、記念品の作成
- (3) 「130周年記念誌」の発行
- (4) 同窓会記念会報の編集

3 募金目標金額の設定 400万円

- (1) 募金対象 卒業生、PTA(現役・OB)、地元法人、教職員(現役・OB)等

同窓生の皆様へ

令和7年11月吉日

広島県立世羅高等学校記念事業実行委員会 委員長 松浦 邦夫

創立130周年記念事業に関わる募金のお願い

時下益々御清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より広島県立世羅高等学校の教育推進につきまして、格別の御理解と御支援を賜り感謝申し上げます。

さて、本校は明治29年に私塾甲西会として、千葉三郎先生の深遠なる教育の理想に基づき創設され、その後、広島県立甲山高等女学校との統合を経て今日に至り、令和8年9月に130周年を迎えることとなります。その間、2万百余名の卒業生を社会に輩出し、各界各方面でめざましい活躍をされています。

現在、本校を取り巻く地域社会は、過疎化に加えて少子高齢化が進み、後継者の育成が強く望まれており、本校の担うべき責務の重大さを改めて痛感しているところです。

この度、広島県立世羅高等学校の発展を念願して「創立130周年記念事業」を企画することになりました。

つきましては、誠に恐縮ではございますが、この趣旨に御賛同いただき、格別の御支援を賜りますようお願い申し上げます。

募金

1口5,000円とします。

なお、1万円以上御寄付していただいた方には、「130周年記念誌」を贈呈させていただきます。

振込先

創立130周年記念事業実行委員会からお届けしている払込取扱票(赤色)を御利用の上、郵便局でお払込みください。

銀行等振込みの場合は、
「ゆうちょ銀行五一八支店 普通預金 5106097」
口座名義「広島県立世羅高等学校創立記念事業実行委員会」

募金についての問い合わせ

広島県立世羅高等学校創立130周年記念事業実行委員会事務局

所在地 〒722-1112 広島県世羅郡世羅町本郷870

電話 0847-22-1118

e-mail sera-h@hiroshima-c.ed.jp

世羅高校創立130周年記念事業「実行委員会」

1 実行委員会

(1) 実行委員会

実行委員会委員長	松浦 邦夫 (同窓会)		
実行委員会副委員長	金廣 隆徳 (同窓会)	堺 秀裕 (同窓会)	
	平野 剛 (学 校)	古満 学 (P T A)	
記念式典・記念事業専門委員長	光元 信能 (同窓会)		
記念誌・名簿専門委員長	野々部芳樹 (同窓会)		
記念同窓会報編集専門委員長	寺田 宣文 (同窓会)		
募金活動専門委員長	上野 悟 (同窓会)		
事務局長	佐藤 瑞江 (学 校)		

(2) 実行委員会専門委員会

委員会名	委員長	副委員長	同窓会委員
記念式典・記念事業専門委員会	光元 信能 (同窓会総務委員長)	馬場 孝則 (同窓会事務局長)	井上 公樹 道本 享祐 原田 悦二 山崎 誠 森田 剛
記念誌・名簿専門委員会	野々部芳樹 (同窓会名簿組織委員長)	堺 秀裕 (同窓会副会長)	吉宗八栄美 竹保 俊英 七ツ河克重 本郷 龍央 稲田 嘉明 上田 隆紀
記念同窓会報編集専門委員会	寺田 宣文 (同窓会広報委員長)	栗原 文夫 (同窓会広報委員)	和泉 秀宣 伊藤 広志
募金活動専門委員会	上野 悟 (同窓会事業委員長)	大谷 敏朗 (同窓会副会長)	玉浦 洋明 仲行さとみ
事 務 局	佐藤 瑞江 (教頭)	堺 秀裕 (同窓会副会長) 森信 真樹 (事務長)	

2016年から2020年の世羅高校・同窓会のあゆみ

今から10年前の2016年、世羅高校創立120周年記念行事が執り行われました。
ここでは、10年間の前半5年間の世羅高校・同窓会の記事を抜粋して紹介します。

(過去10年の前半5年間)

2016 (平成28) 年 世羅高校120年の歩み展が大田庄歴史館にて開催されました。



次ページへ続く

Topics

さかんに注意が喚起されているクマ被害。1月は世羅町小世良で、9月には小国と、国道184号線沿いで、また、10月には本郷・新山でツキノワグマの目撃情報が出ています。また、フルーツロードでもクマの痕跡が発見されました。夕方・夜間や山・林縁・農地・ため池近くなど、クマが餌を探しに出る可能性の高い時間帯・場所では注意が必要だそうです。



創立120周年記念式典

平成28年9月24日(土)
広島県立世羅高等学校体育館に於て

開会行事 国歌斉唱

学校長式辞

国歌斉唱

主催者挨拶



広島音楽鑑賞会



アンコールに代えて

創立百二十年を終えて

世羅高等学校は、今年創立百二十年を迎える。今年、同窓会(総会)・懇親会(懇親)は七月八日に開催され、今年度は同窓会改革七年目となり、同窓会はこれまで以上に重要な役割を果たす。これまで百二十年間(一総会・懇親会)は、世羅の発展に尽力し、世羅の発展に貢献してきた。同窓会(総会)・懇親会(懇親)は、世羅の発展に尽力し、世羅の発展に貢献してきた。同窓会(総会)・懇親会(懇親)は、世羅の発展に尽力し、世羅の発展に貢献してきた。

「創立百二十年を終えて」は、世羅の発展に尽力し、世羅の発展に貢献してきた。同窓会(総会)・懇親会(懇親)は、世羅の発展に尽力し、世羅の発展に貢献してきた。同窓会(総会)・懇親会(懇親)は、世羅の発展に尽力し、世羅の発展に貢献してきた。

「創立百二十年を終えて」は、世羅の発展に尽力し、世羅の発展に貢献してきた。同窓会(総会)・懇親会(懇親)は、世羅の発展に尽力し、世羅の発展に貢献してきた。同窓会(総会)・懇親会(懇親)は、世羅の発展に尽力し、世羅の発展に貢献してきた。

二六同期会
金田 東二 (昭和26年卒)

昭和26年3月卒業同期は普通科・生活科の一七七名でした。私たちの学校生活は戦中戦後を通じての被乱に満ちたもので、小学校三年生の時、太平洋戦争勃発昭和20年終戦の年にそれぞれ国民学校高等科、県立甲山高等女学校、県立世羅中学校等に進級進学。昭和23年県立世羅高等学校・県立甲山高等学校に入学、一年後の昭和24年に高校再編成で合併し現在の男女共学の広島県立世羅高等学校が誕生しました。

卒業して、進学・就職・地元で家業にと、全国各地に別れましたが、それぞれクラス会等で連絡は途切れることなく、戦後の困難期・復興期・高度成長期・バブルと長期停滞期を懸命に走り抜けて参りました。

平成4年に還暦を迎え、世羅在住の方の呼びかけで第一回目の同期会を開催しました。「二六会」総会と名付け、甲山農村環境改善センターを会場に恩師の藤井志郎先生・千葉清士先生・内田正先生を迎え八十人が集まりました。

その後は二年毎に各地で開催し、甲山ふれあいの里・東京総会・広島総会・福岡総会(古希)・大阪総会・福山総会(華寿)と会を重ねてきました。平成24年の尾道総会で「高齢化が進む中で開催が難しくなりました」と第九回が最終総会になりました。但し、その後も毎年5月に有志の集いを開催し「二六会」は現存しています。

今年5月15日に三原で開催し二十名が参加し「来年も会いましょう。」と話し合いました。話題は母校の駅伝の活躍。当時、体育で陸上競技専門の内海富貴郎先生が就任され、全校生徒に「走る」ことを指導奨励されました。体育の時間は、先ず全員が学校の周辺コースを走り、それから授業の開始でした。

これを契機に、末國・岡河・谷数等の長距離ランナーが輩出しインターハイで活躍されたのです。私たちの一つ上・同級・一つ下が大阪府で開催された第一回・第二回全国高等学校駅伝競走大会に連続優勝して、同期として誇りに感じます。

余り知られていないことは、同期の女子ソフトボール部が広島県大会で優勝し中国大会に出場したこと。当時は道具も満足になくてグローブを使うのは捕手と一



塁手だけで、他の選手は素手で練習していました。現在母校は、進学校としても頭張り、新校舎も建設されました。校訓「文武不岐」のもと、一層の発展を祈ります。

同期会として母校を誇りに思いエールを贈ります。(広島市在住)

Topics 第25回フルーツ王国・せら高原まつりが、9月20・21日にせら夢公園(せら県民公園・せらワイナリー)内を会場にして開催されました。世羅町ならではの「旬のフルーツ」にフォーカスしたグルメ・体験・音楽ステージなど、多彩な催しがありました。秋の味覚を楽しみながら、町内外から来る人と町がにぎわう良い機会になったと思います。

同窓会会報20号
(2018年6月発行)
「同窓会報告」から

三年前の平成二十七年三月二十一日、昭和45年普通科卒業生の同窓会を三原国際ホテルで開催した。卒業生141名、逝去された人11名、参加者65名であった。

卒業後45年を経て普通科3クラス合同の同窓会は初めてなので、準備のため一年前から地元の名所を中心に実行委員会を立ち上げ、その中から各クラスの責任幹事を選出した。会合は何回と重ねるも、久しぶりと懐かしさが加わり、会議を早めに切り上げて宴会へ移し熱心にチームワークづくりにも努めた。

実行委員会では、名簿作りと近況報告の整理に費やし、案内状を送った結果、宛名不在で葉書が届かなかったのは僅かだが、幹事の努力が報われた。この長い年月の中で、悲しい事実もあつた。45年前の記憶が薄らいだといえ、ともに机を並べ、勉学に真面目に取り組んで来た頃を思い出して、同窓会でお互いの健康を祈り合っていたはずと思うと尚更である。また、欠席者の中に、欠席理由を、参加したけれど所用で行かれませんでした、返事をくれた旧姓Mさんには、同窓会後に記念誌と参加者のスナップ写真をDにまとめ、「次回の同窓会は卒業50年をす



荒井 静彦(昭45年卒)

「昭和45年卒業生同窓会の報告」

んからの手紙には「45年も経つと、誰が誰なのか分からない、でもとても懐かし。」「次回はみんなに会いたいけど、参加できないかも。」と結んでくれた。「あれ？もう欠席予告なん？」と疑問を抱き、早いうちに様子を見に行こうと思っていた矢先に悪性腫瘍での逝去の報を受けた。常に死と直面しながら、懸命に生きようとされ、卒業50年同窓会での再開の約束を果たすことは叶わず、Mさんは旅立って逝ってしまいました。

今思うと、亡くなられた私たちの恩師、周才千明先生の「どんなに自分が思うような社会でなくても常に前向きであるように」との言葉が思い出される同窓会でもあつた。



昭和45年卒業 世羅高校普通科 同窓会

同窓会会報21号 (2019年6月発行) 特集「岩本監督、感動をありがとう」から

特集 岩本監督、感動をありがとう

3月中旬、「世羅陸上部岩本監督退任」のニュースが入ってきました。東広島市に新しく創部される実業団チーム「ダイソー女子駅伝部の監督」に就任という、私達同窓生にとって晴天の霹靂の出来事です。監督は在籍15年にわたり、長く陸上競技部員を指導していただき、低迷する世羅高校陸上競技部を全国に知れ渡る強豪校に導いてくださいました。その間、男子5回の優勝、3回の準優勝、女子1回の優勝で、前人未到の驚異的な戦績を挙げられたのでした。監督のモットーは、「速い選手より、強い選手」に代表されるように、生活面で当たり前のことが当たり前にできる選手でなければ、いくら記録が良くても選手起用

しないなど独特の指導方法でした。また、驚くことに、選手の全体練習時間は、1時間半という全国一短い練習なのです。そうした選手の「自主・自立」を大切にされた指導で、就任3年目の平成18年には32年ぶりに男子の全国制覇を成し遂げられ、以後は破竹の勢いで、全国の同窓生、世羅町民、広島県人に夢と感動を与え続けたのでした。

特集では、岩本監督の歩みを振り返りながら、交流のあった人たちの声を紹介いたします。

岩本監督 感動をありがとう！そして新たなステージで、また大輪を咲かせてください。私たちは、いつまでも監督を応援し続けます。

プロフィール

岩本 真弥 (いわもと・しんや)



東広島市出身。昭和56年度世羅高校に入學。駅伝選手として3年連続全国高校駅伝に出場し、3年の時、4区間賞を新記録で獲得。その後、福岡大学に進学し、中学校の教諭を経て、平成16年度に母校の体育教諭として赴任し、陸上競技部の監督に就任。平成22年からは女子チームの監督も兼任し、平成27年度には男女チーム同時優勝の快挙を達成。平成31年3月末、世羅高校を退職する。現在、ダイソー陸上部監督として全国実業団女子駅伝大会出場をめざして活躍している。

平成27年度

全国大会成績：第66回男子優勝(監督5回目) 男子大会新記録(2時間1分18秒) 第27回女子初優勝

全国大会出場選手 男子：中島、井上、カマイシ、吉田、山口和、植村、新迫 女子：小吉川、大西、長尾、浅田、向井



男女そろっての堂々たる優勝パレード



悲願の初優勝を報告：女子キャプテン 小吉川選手



世羅高初の男女V優勝



9回目の優勝：男子キャプテン新迫選手

同窓会会報22号 (2020年6月発行) 「クラス会報告」から

夢を語り元気をもらおう！「クラス会報告」

國原 英行 (昭和37年卒)



私たちの卒業は昭和37(1962)年3月で、卒業以来58年となります。6クラスあり、普通科の3クラスでクラス会を行っています。還暦を迎えた平成15年に最初のクラス会を三原で行いました。2年に1度開催しようとお互いに約束し現在も継続しています。最初は40人位参加がありましたが、最近では20人位に減少しました。

卒業当時は集団就職がおこなわれていた時代で金の卵だったように思います。故郷を守る人・教師・ビジネスマン・技術マンといろいろな人材が育ちました。日本経済も右肩上がり、争いもなくいろいろと体験させていただき、夢を描き思えた青春だったように思います。

令和元年、8回目のクラス会を甲山で開催しました。1人3分のスピーチは時間が短かったようです。最近の話題は、母校の駅伝の現状に始まり、国政問題・農業問題・人口減問題・自分の体調の話へと、話は大きくなったり小さく



なったりとても愉快です。家庭菜園、里山づくりに汗している人、地域のボランティア活動に頑張っている人などいろいろです。人生100年時代。まだまだ額に汗して働く気力十分です。でも、体調に気を付け、元気に過ごそうとお互いをかけ合い、再会を誓い合いました。そしてなごりを惜しみながら世羅産の食材を手土産に家路につきました。

Topics

7月21日に夢吊橋サマーフェスタ2025が八田原ダム管理所・芦田湖周辺で開かれました。スタンプラリーで普段は見られないダム内部見学、巡視船での芦田湖クルージングなどの体験型イベントでにぎわいました。5月25日に道の駅世羅10周年感謝祭 および関連イベントが、7月19日～21日には夏の味覚フェアで世羅野菜の詰め放題など、自然と農業に関連した行事が今年も満載でした。

お知らせ

Information

「同窓会会員名簿」の内容を充実するための現況調査を行います。

現在は、会員のプライバシー保護のため、名簿冊子の発行はしませんが、みなさんへの情報発信のため、住所管理を委託しているISO、プライバシーマークを取得している小野高速印刷(株)と同窓会本部で厳重に行います。(名簿組織委員会)



世羅高等学校創立130周年記念事業「実行委員会」開催



2026(令和8)年に迎える世羅高創立130周年に向けて始動しました。

- 実行委員会及び専門委員会(記念式典・記念事業専門委員会、記念誌・名簿専門委員会、記念同窓会報編集専門委員会、募金活動専門委員会)の組織が始動しました。(総務委員会)

「同窓会賛助金」にご協力を!

「世羅高等学校同窓会会報」は、今回27号を迎えます。全国の会員の皆様からの賛助金のお陰で、会報発行と個人宅に発送ができています。改めて皆様に厚く御礼申し上げます。

令和6年度「同窓会賛助金」報告

総数：770件
入金総額：1,775,000円
手数料等：196,314円
差引額：1,578,686円

令和5年度

総数：611件
入金総額：1,310,048円
手数料等：54,351円
差引額：1,255,697円

会報の印刷作成費・郵送費には、約250万円の経費が必要です。そのため、今後も会員の皆様に会報を発行するには、財源となる賛助金が不可欠です。

今年度も会報と併せて、「同窓会賛助金」振込用紙を同封しています。

事情をご理解いただき、ご理解とご協力を引き続きよろしくお願いいたします。

住所異動のご連絡にご協力ください!

同窓会では、会員皆様方の住所管理をISO、プライバシーマークを取得している小野高速印刷(株)に委託しております。この度、住所異動のご連絡を確実に、素早く、事務作業の負担減の為に、小野高速印刷(株)内にご連絡いただくこととなりました。住所異動をされた方は、下記方法にてご連絡くださいますようお願いいたします。

小野高速印刷(株) 同窓会支援事業部
〒670-0933 兵庫県姫路市平野町62
フォームメール：https://www.ohp.co.jp/ido_form
メール：meibo@dousou.info
TEL：079-281-8837 FAX：079-281-8839



「同窓生だより」コーナーへの投稿にご協力ください。

「同窓生だより」は、全国の同窓会員の皆様からの声を掲載しています。(あの人は今どうしておられるのだろうか)、(元気でいられるのだろうか)と遠く離れた同級生に思いを巡らせていたところに、このコーナーに掲載されたことで、再度、同級生の集まりが始まったという声も聞きます。記事は、「世羅高時代の思い出」「世羅高・同窓会への思い」「卒業後の自分」…など、何でもOKです。

実は、毎年「同窓生だより」への記事募集には苦勞しています。普段から、皆さんの声が集まったらどんなにいいや

うと思います。そんな思いに応えてくださる同窓生の方、是非、声をおかけください。そして、記事をお送りください。

世羅高同窓会広報委員会委員長：寺田宣文宛てまで。
〒722-1112 広島県世羅郡世羅町本郷498-3
電話：0847-22-1436、携帯：080-1913-4094
パソコンメールアドレス temple10@mail.mcat.ne.jp

編集 Editor's Note 後記

今年度も多くの皆さまのお力添えにより、世羅高同窓会会報27号を発行することができました。編集にあたり、多くの卒業生の皆さまから温かいご協力を賜りましたことに心より御礼申し上げます。この1年間の世羅高生徒の活躍と同窓会員皆様から寄せられた近況や思い出の一つ一つに触れるたび、時代変わっても、学び舎で培った絆は確かに続いていると実感しました。母校を中心に広がるつながりの強さをあらためて実感いたしました。各地で活躍される皆さまの姿は、在学生や若

い世代にも大きな励ましとなることでしょう。

来年は、世羅高校創立130周年の記念行事を開催すべく準備を進めています。この会報も今回と次回を合わせて120周年からの10年間を振り返るものになっています。同窓会会報が、卒業生同士を結ぶ小さな架け橋として、今後も親しみを持って読み継いでいただければ幸いです。次号でも、皆さまからのお便りや情報提供を心よりお待ちしております。皆さまのご健勝をお祈り申し上げるとともに、今後も変わらぬご支援をお願い申し上げます。

(世羅高同窓会広報委員会)